

**みんなで作る
学びのまち**

① 学校教育の充実

中学校武道場の建設

2億3155万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

平成25年4月から中学校の保健体育科に武道が必修化されました。本町では、必修化に先駆け平成21年度から剣道に取り組んできました。

平成24年12月に完成した武道場では、中学校の剣道授業が行われると共に、中学校剣道部の活動、剣道少年団の活動、町内の剣道愛好家による稽古や大会などが行われています。

内装には、母村十津川村産のヒノキ材と新十津川町産のトドマツ材、道産のカバ材を豊富に使用し、床には剣道専用の衝撃を吸収する下地材を施しました。

住所 新十津川町字中央28番地1
 構造 鉄骨造平屋建
 面積 760.51平方メートル
 格技スペース 11メートル四方 2面



小学校教育の推進

419万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

小学校の児童の学力向上を目的に規則正しい生活習慣、学習習慣を定着させるため夏季、冬季休業中に学生ボランティアや地域の協力による学習会「やまびこ」を改善センターとゆめりあで開催しました。

また、雨竜町との共同事業で総合的な学習の時間を活用し、劇団野ばらによる創作劇「あした・あさって・しあさって」を鑑賞し豊かな心を育む機会を提供しました。



中学校教育の推進

484万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

中学校の生徒のために、特色ある学校づくりを進めました。

小学生と同じように夏季、冬季休業中には、学生ボランティアや地域の協力による学習会「やまびこ」を改善センターとゆめりあで開催しました。

豊かな心を育む鑑賞事業として、雨竜町との共同事業で総合的な学習の時間を活用し、シアターパブリック・ムカシ玩具 舞香一人芝居「神々の謡(うた)」を行いました。

また、食育を推進するために地産地消と安全性を学び、食に関心を持ち、郷土愛を育む教育を進めました。



農業高校の教育振興

314万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

新十津川農業高等学校の特色ある教育活動に対し、各種大会活動への支援、遠距離通学者への通学費の一部助成や、ホームヘルパー2級資格取得などへの経費の助成を行いました。



中学校コンピュータの整備

342万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

情報教育の環境を整備しました。中学生のパソコン操作能力や情報活用能力の育成を目的に、平成17年に購入した中学校のパソコン教室で使用している授業用のパソコン本体(生徒用36台、教師用1台)やネットワーク関連機器、授業支援用ソフトを更新しました。



スクールバスの購入

2489万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

小中学校の児童生徒の安心で安全な通学を確保するために、64人乗りのスクールバス1台を更新しました。

登下校の運行のほか水泳授業、スキー授業、総合的な学習の時間や中体連の大会など、児童生徒の移動に利用しています。



教育充実指導講師の配置

231万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

中学校の授業体制をより充実させるために臨時講師を1人配置しました。

講師は、主に社会科を担当しました。

また、「読み、書き、計算」の基礎と基本や「見る、聞く、話す」などの学習能力を伸ばすため、TT(ティーム・ティーチング)指導など授業の工夫や充実に努めました。



② 社会教育の充実

体験学習の推進

12万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

子ども絵画教室や親子造形教室、小学6年生を対象とした通学合宿を実施しました。通学合宿は、より効果的な内容となるように、日数を3泊4日から6泊7日に増やして実施し、31人が参加しました。生活の仕事や家庭学習など、自分たちで立てた計画を、毎日の振り返りの中で修正しながら生活することで、規則正しい生活や学習習慣の定着へのきっかけづくりとなりました。



児童生徒の母村訪問

143万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

母村十津川村との交流を深めるため、児童生徒29人と教職員等6人が、奈良県十津川村を訪問しました。訪問先では、平成23年に大きな被害をもたらした台風12号の影響を肌で感じ、本町の歴史的背景をより深く学ぶことができました。また、地域の方々や児童生徒との交流を通して、母村との絆を一層深めることができました。



芸術鑑賞

292万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

ゆめりあホールで、音楽や芸術鑑賞会を4回実施しました。平成24年度は合計1,266人の入場がありました。特に、でんじろうおもしろサイエンスショーは、第1部、2部ともにほぼ満席となり、家族そろっての鑑賞機会を提供することができました。

<平成24年度実績>

開催日	内容	入場者(人)
6/30 (土)	でんじろう おもしろサイエンスショー	第1部 341 第2部 348
7/10 (火)	瀧本豊壽民謡コンサート	271
8/9 (木)	加羽沢美濃ピアノファンタジー	126
9/25 (火)	歌舞伎フォーラム公演「あんまと泥棒」	180
	合計	1,266

絵本ふれあい事業

10万円

(担当：図書館)

家庭での読書習慣の定着を推進するとともに、絵本を介して親子でふれあうかけがえのないひとときを応援しました。3～4か月児の健康相談時に、乳幼児向けの絵本2冊と絵本バックを贈呈し、絵本を手にもらえるように、読み聞かせのアドバイスを行ないました。



ふるさと公園内体育施設の管理運営

6177万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

ふるさと公園内の体育施設の運営管理のほか、今後も継続して、より安全で利用しやすい施設とするため、大規模修繕を行いました。大規模修繕の内容は、スポーツセンターのカーテンの取り替えと排煙窓の修理、温水プールの屋根の修理、ふるさと公園野球場トイレ屋根の修理などのほか、イースタンリーグ開催に合わせてピネスタジアムの内野グラウンドやブルペンの整備を行いました。



プロ野球公式試合開催の支援

30万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

北海道日本ハムファイターズと読売ジャイアンツによるイースタン・リーグ戦の開催を支援しました。当日は、3,607人が来場し、熱戦に声援を送りました。また、前日には日本ハムファイターズの選手による少年野球教室が開催され、子どもたちは、一流選手の指導に、目を輝かせていました。

<試合結果> 日本ハム 3 - 1 巨人

